

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立五条小	学校	児童数	162
---------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.27	17.96	29.53	35.61	37.84	9.64	143.22	17.84	44.00
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	48.50
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	50.00
女子	14.41	18.04	35.65	33.79	27.31	9.81	134.94	10.50	49.87
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校5年生は男女ともに大阪市平均及び全国平均を下回る結果となった。特に男女ともに20mシャトルラン・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げは平均との差が大きく、持久力・敏捷性・投力の課題が見られる結果となった。また体力合計点についても、平均を下回っており特定の種目だけではなく全体的な体力向上が必要と思われる。原因としては運動場が児童数に対して狭いために休み時間を含めた運動量が確保が難しいことや、学校だけではなく土日に運動する機会も少ないとの結果がでており、1週間の総運動時間も平均を下回っていることが考えられる。一方で「運動やスポーツをすることが好きですか」の設問に対して肯定的に回答している児童は全国・大阪市を共に上回っており、「楽しい体育」を第一に考え取り組んできた成果が出ていると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の学習では、児童の意欲を引き出すための手立てとして、授業の場づくりを工夫したり、学習カードを作成したりするなどの取り組みを行ってきた。また運動場が狭いこともあり基礎的な体の動かし方を身に着ける活動を重視し、「走」の運動を多く取り入れていたことから、平均は下回りながらも50m走の差は小さい。またICT機器を活用して技術の向上を図るとともに、友だちと対話しながら学びあう活動を取り入れることで、児童が楽しく運動に取り組むことができる授業づくりに努めてきた。そのような取り組みもあり、「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目は大阪市・全国平均ともに上回ることができたと考える。今後は今回差異の大きかった持久力・敏捷性・投力の運動を体育の授業の中で積極的に取り入れ、体力向上を目指すとともに、楽しい体育を大切にしながら児童の運動習慣の定着と体力の向上を図っていききたい。